

—12月28日締切—

〈隸書〉 (この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする)

小畠秋聲先生書

聖芳林寺訪携客醉歸眠帶花月

秋
芳
林
寺
訪
携
客
醉
歸

秋
芳
林
寺
訪
携
客
醉
歸

秋
芳
林
寺
訪
携
客
醉
歸

山本飛雲先生書

〈行書〉

野
芳
林
寺
訪
曾
携
客
醉
歸
眠
帶
月
月
帶
眠
醉
客
携
曾
訪
林
芳
野
寺

□ 野寺僧を訪い帰るに月を帯び、芳林客を携え酔うて花に眠る。(不詳)

いなか寺の僧を訪問しては日の暮れるまで遊んで月を帯びて帰り、春の山に友と遊んでは花下に酔うて眠る。

次号予告「雲開萬壑春」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書

□ 三月の山の秋風、夜ふけてふるさと寒く衣うつなり

△百人一首九十四▽

条幅随意(臨書)（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

井之上 南岳先生臨

▽蜀素帖

聽誦歌路不拾遺知政肅野多滯穗是時和

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書



□ 中原中也の歌 篠見れば 炭たゞ一つ 残るあり 冬の夜更の 心寂しも

条幅随意（半折 $\frac{1}{2}$ 横のみ）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



清 原 大 龍 先 生 書

□ 「獻壽」（けんじゅ）

長寿を祝うめでたい言葉。行書と草書で書きましたが、二字が調和するように書きましょう。

もうすぐお正月。
来年も素晴らしい年になりますよう
に。

△手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。▽

半折作品は各課目ごとに横 $\frac{1}{2}$ に一枚ずつたたんで提出ください。

条幅随意（半折 $\frac{1}{2}$ ）漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

半紙規定参考手本 ——12月28日締切—

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

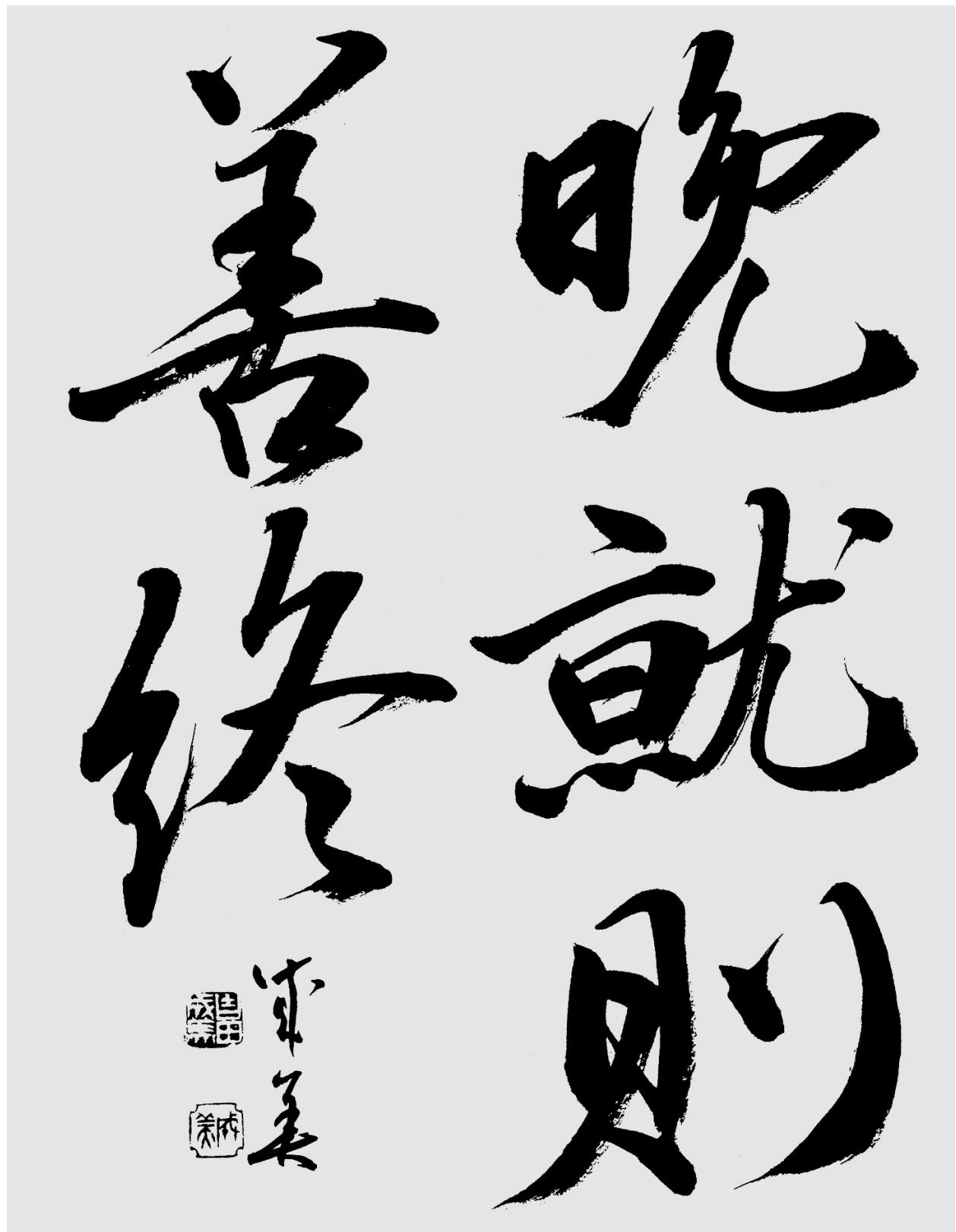


□ 晩く就れば則ち終わりを善くす（「三国志」魏書・王昶伝）
晩成したものは最後までりっぱである。

おづかな
おぞなわ
おづらようでん

半紙規定参考手本 —12月28日締切—

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)



次号予告「萬物生光輝」

吉田成美先生書

□ 晚く就れば則ち終わりを善くす (「三国志」 魏書・王昶伝)
晩成したものは最後までりっぱである。

半 紙 隨 意 參 考 手 本

—12月28日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります

△詩文書▽

白田亞浪の句

鶴の それきり啼かず 雪の暮



川 上 和 子 先 生 書

半紙隨意(臨書)参考手本 —12月28日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする)

▽蜀素帖

△臨書

△ 楽に筆を持ち、抑揚(筆の上下の動き)を強調して、優美な線で臨書をしよう。



「揚帆載月」

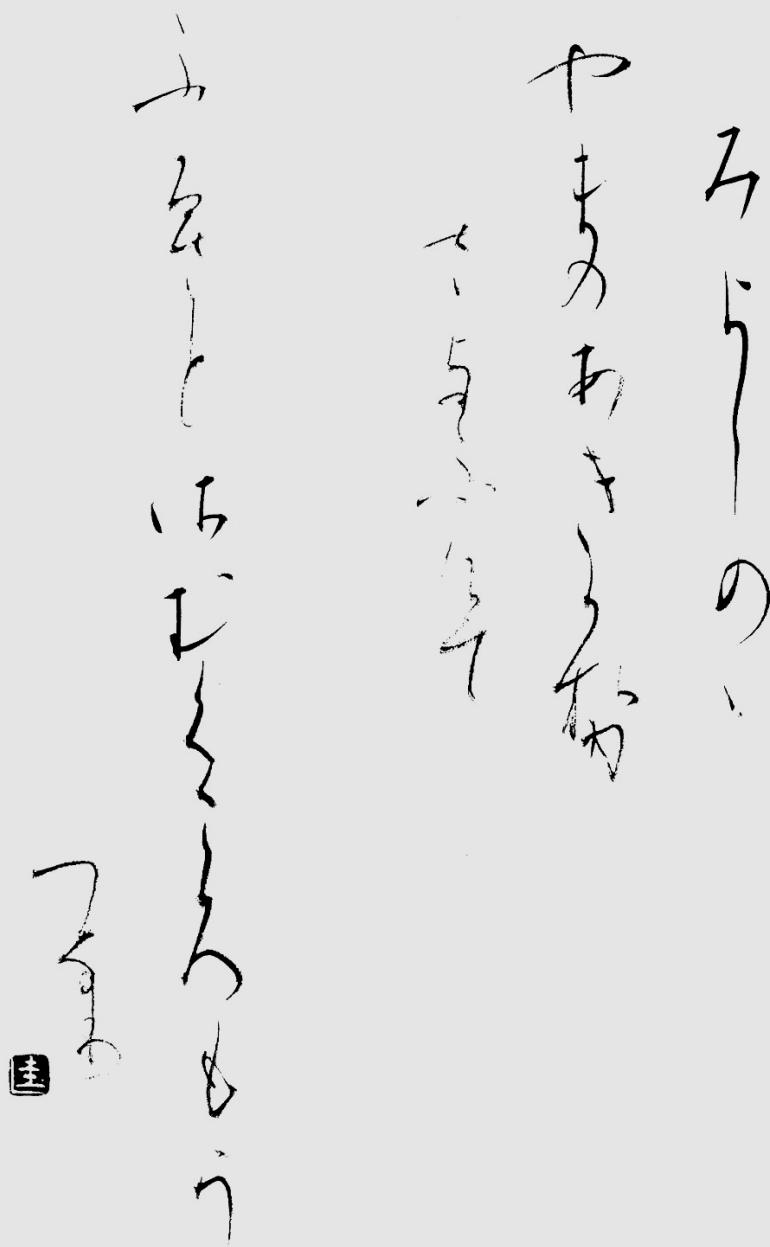
清原大龍先生臨

半 紙 隨 意 參 考 手 本 —12月28日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

み吉野の 山の秋風 さ夜ふけて ふるさと寒く 衣うつなり

△仮名▽ みよしの、やまのあきか勢せ さ与よ ふ介けて ふるさと佐さむく ころもうつなり



舟 尾 圭 碩 先 生 書

半 紙 隨 意 參 考 手 本 —12月28日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

△手紙文△

札幌での新生活も半年になります
札幌での新生活も半年になります 都会と自然を共存しているこの街は 遠い故郷を思い出させます
郊外の見渡すかぎりの銀世界は 息をのむほどの美しさです 息をのむほどの美しさです

札幌での新生活も半年になります
都會と自然を共存しているこの街は
遠い故郷を思い出せます 郊外の
見渡すかぎりの銀世界は息をの
むほどの美しさです 知子

伊良子 喜代先生書

一般硬筆部参考手本 <A> —12月28日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

△暮らしに役立つ書△

書譜

持故 寒冷の候、皆様におかれましては
ご健勝のこととなじ上げます。

やうやく老母のこと、来年一月二十日の誕生日
をもてセナセ歳とあります。そこでささやか
ながら喜寿の祝いを計画し、翌日午後六時
より粗餐を差し上げたゞく、ご都合の許す
限り、ご出席賜りたい存じます。

末筆 やがて、ご同様にくれぐれも
どうぞお伝えください。

敬具

粗餐(そさん) = 粗末な食事。謙譲語。

野のある便箋に書いてみよう。

△26cm×18cm△

紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小畠秋聲先生書

一般硬筆部参考手本 —12月28日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

束子 (たわし)									
	段 級								
	氏 名								

「龜の子東子」のみがん色の包装には
今も天然素材、快適空番、品質を位
と自信の四字が彌々と言葉。山を愛する同僚
は冬山必携の品だと言葉。服や道具の
雪舟に大変重宝すもやうである。

小畠秋聲先生書

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂 元 紫 香 先 生 書

中 学	小学 6 年	小学 5 年	小学 4 年	小学 3 年	小学 2 年	小学 1 年	ようねん
角	角	角	角	角	角	角	かく
解	解	解	解	解	解	解	かい
数	数	数	数	数	数	数	すう
然	然	然	然	然	然	然	ぜん
養	養	養	養	養	養	養	よう
病	病	病	病	病	病	病	びょう
風	風	風	風	風	風	風	ふう
屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	や
大	大	大	大	大	大	大	だい
夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	ゆふ

今月のかぎかた下りル (形や注意する点に気をつけてゆっくり書こう!)



(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

小学4年

小学3年

小学2年

ようねん・小学1年

△条幅 $\frac{1}{4}$ || 四尺画仙紙半折 $\frac{1}{4}$:
68 cm × 17 · 5 cm √

中学1年

小学6年

小学5年

坂元紫香先生書

ようねん・小学一年

次号予告「え　ま」

小学三年

次号予告「正　月」



小学二年

次号予告「はねつき」



□書き始めは、筆の先をきれいにととのえ、腕全体で元気よく書さましよう。

坂元紫香先生書



小学四年

次号予告「出　発」



□「立」は横線の方向に注意し、「冬」は左右の“払い”を伸びやかに書こう。

吉田成美先生書

□「あ」の三画目は、筆だけをまわさないように気をつけて、のびやかに書さましよう。

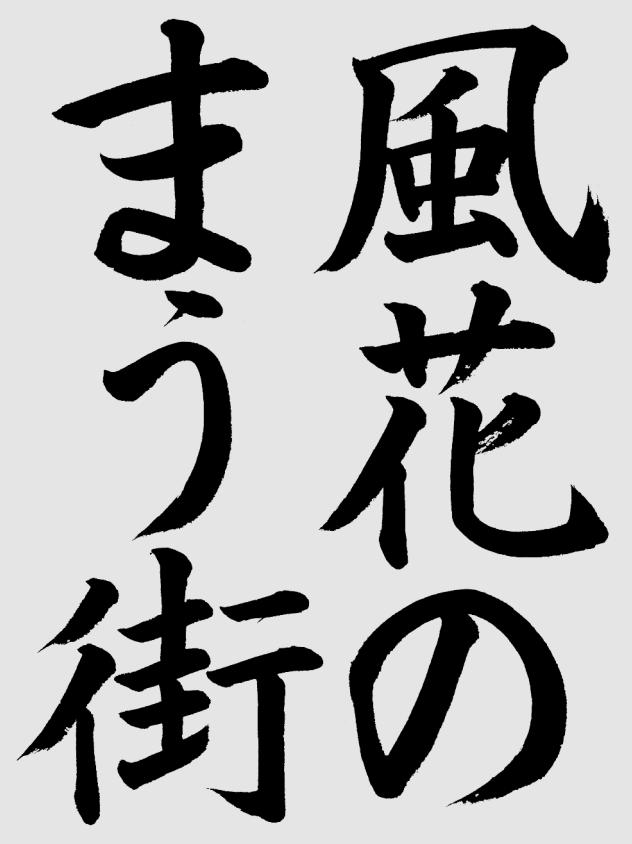
□転折の強弱をはつきりとつけ、各字の空間は均等にとりバランスよく書こう。

小学五年

次号予告「希望」

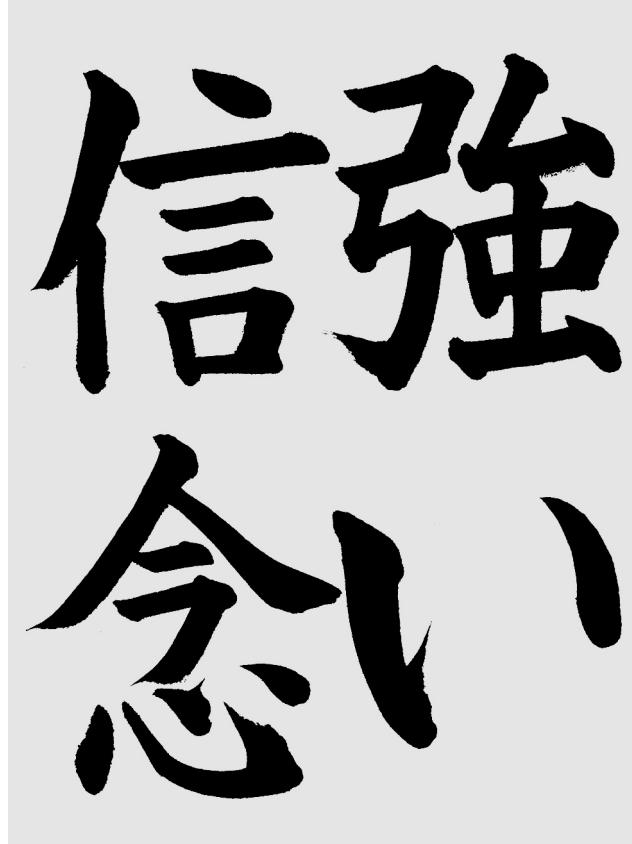
中学一年

次号予告「不言実行」（行書）



小学六年

次号予告「ゆずり葉」



□ 「強・信」は「へん」と「づくり」のバランスに気をつけ、「念」は払いを伸び伸びと。

秋 永 春 霞 先 生 書



中学一・三年

次号予告「新たな目標」（行書）



□ 点画の流れを意識して、各字の字形や「ライ」・「ネ」にも気をつけて伸びやかに書いて。

吉 田 成 美 先 生 書

□ 漢字は文字の中心に氣をつけ、平仮名はやゝ小さめにバランス良く書きましょう。

□ 漢字と平仮名の調和に注意し、各文字の点画の流れを意識して伸びやかに書いて。

学生硬筆部規定参考手本

—12月28日締切—

よつねん

段級	ナ・な
氏名	一木 太一
	かからへく
	しりつける
	左から右へく

小学一年

段級	ス・ス
氏名	木下
	かづの
	じめ
	ふる

段級	カ・カ
氏名	木下
	かづの
	じめ
	ふる

段級	リ・リ
氏名	木下
	かづの
	じめ
	ふる

学生硬筆部規定参考手本

—12月28日締切—

病氣(びょうき)
广病(ひろびょう)
氣(き)
氣(き)
長(なが)

たてていかにうける
たてせんせいかにくへる

段級
氏名

病(びょう)
氣(き)
長(なが)

と、わらう、
長生きが、
おつた。百年も、
もう、わしの病氣は
な

小学三年

凡風(ふんふう)
兄歌(きょうか)
可歌(かぎょう)
姓(せい)
氏名(じめい)

右から左へはらう
とめる上にはねる
よいで下の
よいで下の
はねりたい
はねりたい

アスの花(はな)を
歌(うた)う
歌(うた)う
アス

小学二年

小学四年

木は、上に生えて、るんだ
や葉をさへるために、土
の中、で、大きな根が広がり、
水分や養分を送つて、る。

小学五年

井昔葉^(よきよ)_{とめる}、^(よきよ)_{つぎ出ない}美養^(びやう)_{はねる}養^(よう)_{どめる}、^(よきよ)_{ハ今}分^(ぶん)_{はねる}、^(よきよ)_三井^(い)关^(せき)、^(よきよ)_{ハ今}送^(そう)_{はねる}

氏名

段級

この少^(すくな)い社会は、自然に
も、人がくらす環境にも、やす
し、社会といえるでしょう。日

本の社会は、くらしゃすい方^(かた)
に向^(むか)かって、いると思^(おも)います。

右上にはらう	◎右下におろす
立てよせんにつける	◎はねる
立	上
てよせん	下
方	方

環境^(かんきょう)_{かんきょう}
環境^(かんきょう)_{かんきょう}
環境^(かんきょう)_{かんきょう}

氏名

段級

立	上
てよせん	下
方	方

シロアリの巣を作っている土に	は、目に見えないほど小さい穴が無数に空いて、この穴が呼吸するようにしつ度を調節していることが分かるます。	中 学	△ ではない△じめる△はらう△点の方向に注意	△ ほねる△は一画で書く△吸	△ 呼吸△吐呼△△無無△簡単解説	△左上にはねる△下にきき出ない△成成△成成
氏名	段級	氏名	単巢△	△無無△	△△若若△若若	